令和 6 年 第 9 回
土浦市農業委員会総会議事録

- 1 開会の日時および場所
令和6年9月13日(金) 午後2時
土浦市役所農業委員会室
- 2 議事日程
報告第27号 農地法第4条の規定による市街化区域内の農地転用届出に対する受理について
報告第28号 農地法第5条の規定による市街化区域内の農地転用届出に対する受理について
議案第33号 農地法第3条の許可申請に対する審議について
議案第34号 農地法第4条の許可申請に対する審議について
議案第35号 農地法第5条の許可申請に対する審議について
議案第36号 農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の農用地利用集積等促進計画案の作成について
- 3 出席した委員
1番 下村 幸男 2番 大和田 一夫 3番 山口 貴士
4番 萩島 一郎 5番 飯塚 利之 7番 塙 佳樹
8番 柴 沼 栄 9番 菅谷 幸治 10番 飯島 栄
11番 川村 剛久 12番 岩瀬 守
- 4 欠席委員
6番 浅野 均
- 5 説明のため出席した者
農地係長 室町 直宏 主 事 小岩 友義 主 事 青木 祐哉
- 6 総会の大要 午後2時35分閉会

議 長	<p>只今、出席委員は11名で、欠席委員は1名。よって、出席者が委員の過半数を超えましたので総会は成立いたしました。</p> <p>これより、令和6年第9回土浦市農業委員会総会を開会いたします。</p> <p>次に、議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は、会議規則第13条の規定により、議席番号4番 萩島委員、議席番号7番 塙委員、以上2名の方を指名いたします。</p> <p>審議に入る前に申し上げます。土浦市農業委員会会議規則第14条により、総会は公開することになっております。発言の際は、個人情報に関する事項として住所・氏名・土地の所在等については発言しないようお願いいたします。</p> <p>なお、発言の際は挙手のうえ、指名されてから、ご起立してご質問をお願いいたします。</p> <p>また、「農業委員会等に関する法律」第31条に基づき、農業委員会の委員は、自己または同居の親族、若しくは、その配偶者に関する事項については、その議事に参与することができませんので、事前に退席をお願いいたします。</p> <p>なお、退席後、次の議事に入る前には、入室の確認をさせていただきます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>報告第27号「農地法第4条の規定による市街化区域内の農地転用届出に対する受理について」を事務局から説明願います。</p>
事 務 局	(報告第27号について議案書のとおり報告)
議 長	<p>只今の報告について、ご質問等はありませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>ご質問等もないようですので、報告第27号は原案どおりといたします。</p> <p>次に、報告第28号「農地法第5条の規定による市街化区域内の農地転用届出に対する受理について」を事務局から説明願います。</p>
事 務 局	(報告第28号について議案書のとおり報告)
議 長	<p>只今の報告について、ご質問等はありませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>ご質問等もないようですので、報告第28号は原案どおりといたします。</p> <p>それでは議案に入ります。</p> <p>議案第33号「農地法第3条の許可申請に対する審議について」を上程いたします。1番から5番を、調査を行った委員からご説明お願いいたしま</p>

委員	<p>す。</p> <p>議案第33号「農地法第3条の許可申請に対する審議について」を説明いたします。去る9月4日、委員3名と事務局3名で調査を行いました。</p> <p>1番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりで、畑1筆3,104㎡です。申請事由は、これまでも申請地を借りて耕作しており、今回譲り受けることとなったため、売買による所有権移転です。作付予定はタラの芽です。現地はタラの芽の作付がされてある部分もありました。農機具も揃っていました。許可相当と判断しました。</p> <p>2番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりで、現況田3筆1,144㎡です。申請事由は、営農型太陽光を利用した櫛の栽培に適した農地であるため、売買による所有権移転です。作付予定は櫛です。譲受人は農地所有適格法人で、県内他市や他県で櫛栽培の営農型の実績を残している企業です。現地は田の中で稲作地帯の中心的な一角です。本年度は作付された様子はなく荒れていました。調査の中で、他の市町村において自己所有地の一部に耕作放棄地があることが分かりました。今回に関しましては、全部効率要件に抵触するため不許可相当と判断しました。</p> <p>3番、4番、5番は同一の申請者から出ています。営農型太陽光発電の区分地上権の更新になります。3番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりで、畑3筆4,986㎡です。4番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりで、畑2筆1,132㎡です。5番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりで、畑1筆3,007㎡です。パネルの下のハウスの中でキクラゲを栽培していますが、作っているとは言えない状態です。本来ですと下で営農するという計画で出していますが、未だに何もやっていない場所がかなり見受けられました。営農しているという実態とはかけ離れてしまっています。現地調査した結果では営農の実態が確認できないので、3番から5番は不許可相当と判断しました。</p> <p>委員の皆様の更なるご審議をお願いいたします。</p>
議長	<p>只今、調査委員から説明がありました。ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>3番から5番は既に太陽光パネルは設置してあると思いますが、不許可になると撤去するとか何かあるのですか。</p>
事務局	<p>違反転用という扱いになってしまうので撤去する必要はあるのですが、今後、営農実態を改善して営農した上で是正申請という形で申請が出てくる可能性があるのです。こちらから直ちに撤去しなさいという命令は出来ない状況になっています。</p>
委員	<p>不許可にしてもこのままこの状態が続くであろうと、だったら許可しても同じではと、しかし営農していない状態は許可しかねるので、是正申請など農業委員会の方からはきちんと指導し是正を待つ方針を示して、別の場所で同じような案件があった時にもそのような対応をきちんとしていく方向でと、</p>

議長	<p>現地調査の時に話をしていました。</p> <p>その他、ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>不許可ということですが、更新の申請なので営農してくださいということで許可するという判断は出来ないのですか。</p>
委員	<p>譲渡人は営農するという形で許可を受けていながら営農をしていません。営農していないので認められないということです。</p>
議長	<p>営農型の地上権を設定するところも多いですが、営農型の更新について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>農林水産省のホームページに掲載されているQ&Aによると、一時転用の期間は営農型で3年か10年と定められており、満了の前に更新の申請をしなければなりません。更新による再許可はどのように判断するのかに関して、これまでの転用期間における太陽光パネル下の農地の営農の状況等で総合的に判断します。要件としてはいくつかありまして、書類上は営農しているとなっておりますが、実際に現地確認してみると、菌床が設置されていない場所があるほか、ハウスが破損していて、湿度管理などが見受けられない状態でした。調査委員の方と話をしまして、営農されていないという判断から不許可相当という結論になりました。法令等では、実際に不許可になった場合の実例や対応方法が明確に示されていません。全国的に問題になっている案件でして、経済産業省のホームページでは不適切な営農型太陽光発電の実態が確認された事業者に対して国から交付金の一時停止措置を行った例が掲載されています。実際にニュースにもなっています。このような形で各省庁が連携しながら措置を講じていくのが実際の出来る限りの対応になります。</p>
委員	<p>やっていない状態があります、というのは農業委員会から経済産業省に伝えるすべはあるのですか。情報提供することはないのですか。</p>
事務局	<p>経済産業省の担当へ確認したところ、不適切事例があった場合はホームページから、情報提供してくださいとのことです。実際に報告した後の進め方は不明なところが多いですが、状況を見ながら、今後も営農されない状況で発電事業を続けるような不適切な事案が続くようならば、そのような対応も検討しなければならないと考えます。</p>
委員	<p>指導をいつまでするのですか。</p>
事務局	<p>期間が定められているので、更新の時期に現地確認して審査することにはなります。</p>

議 長	<p>まずは指導という形で進めていくということで、その他、ご質問等はございませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>異議もないようですので、議案第33号「農地法第3条の許可申請に対する審議について」は、1番を許可、2番から5番を不許可とすることに決しました。</p> <p>次に、議案第34号「農地法第4条の許可申請に対する審議について」を上程いたします。1番と2番を、調査を行った委員からご説明をお願いいたします。</p>
委 員	<p>議案第34号「農地法第4条の許可申請に対する審議について」を説明いたします。去る9月4日、委員3名と事務局3名で調査を行いました。</p> <p>1番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりです。畑1筆497㎡で、転用事由は、申請地に農家住宅を建築したため、農地区分は第2種農地です。一般基準についてですが、当該地の転用によって周辺農地への土砂流出や災害の発生を誘発するとは考えられません。また、申請者は現在も農業を営んでおり、申請地周辺に農地を所有しています。許可相当と判断しました。</p> <p>2番につきましては、議案第33号の2番で所有権移転が不許可とされたことから、不許可相当と判断いたします。</p> <p>報告は以上ですが、委員の皆様の更なるご審議をお願いいたします。</p>
議 長	<p>只今、調査委員から説明がありました。ご質問等はございませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>異議もないようですので、議案第34号「農地法第4条の許可申請に対する審議について」は、1番を許可、2番を不許可とすることに決しました。</p> <p>次に、議案第35号「農地法第5条の許可申請に対する審議について」を上程いたします。1番から7番を、調査を行った委員からご説明をお願いいたします。</p>
委 員	<p>議案第35号「農地法第5条の許可申請に対する審議について」を説明いたします。去る9月4日、委員3名と事務局3名で調査を行いました。</p> <p>1番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりです。畑6筆1,708㎡で、転用事由は、申請地に共同住宅を建築したい、売買による所有権移転です。農地区分は第2種農地です。申請地は市道に接しており、周辺は住宅が混在し周辺環境への影響も及ぼさないと考え、調査委員としましては許可相当と判断しました。</p> <p>2番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりです。畑1筆1,392㎡で、転用事由は、申請地を駐車場として利用したい、違反状態を是正した</p>

	<p>い、賃借権設定です。農地区分は第2種農地です。</p> <p>3番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりです。畑1筆2,069㎡で、転用事由は、申請地を資材置場として利用したい、違反状態を是正したい、賃借権設定です。農地区分は第2種農地です。</p> <p>4番、譲受人、譲渡人、申請地は議案書記載のとおりです。畑1筆633㎡で、転用事由は、申請地に従業員宿舎を建築したい、売買による所有権移転です。農地区分は第2種農地です。申請地は市道に接しており、周辺は住宅が混在し周辺環境への影響も及ぼさないと考え、調査委員としましては許可相当と判断しました。2番、3番に関しましては4番の申請が出された際に違反転用であることが判明しました。申請地は許可申請が出されれば許可になる可能性が高い土地でございます。現地調査をしたところ、駐車場、資材置場としての必要性も認められることから許可相当と判断しました。</p> <p>5番から7番ですが、議案第33号の3番から5番で区分地上権設定が不許可とされたことから、不許可相当と判断いたします。</p> <p>委員の皆様の更なるご審議をお願いいたします。</p>
議 長	<p>只今、調査委員から説明がありました。ご質問等はございませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>異議もないようですので、議案第35号「農地法第5条の許可申請に対する審議について」は、1番から4番を許可、5番から7番を不許可とすることに決しました。</p> <p>次に、議案第36号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の農用地利用集積等促進計画案の作成について」を上程いたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>議案第36号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の農用地利用集積等促進計画案の作成について」をご説明いたします。今月は全部で2件あり、全て中間管理機構を通しての新規賃借権設定になります。</p> <p>受人は全て認定農業者の方になります。詳細につきましては、議案書記載のとおりです。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。</p>
議 長	<p>只今、事務局から説明がありました。ご質問等ございませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
議 長	<p>異議もないようですので、議案第36号「農地中間管理事業の推進に関する法律第19条の農用地利用集積等促進計画案の作成について」は、原案どおり承認することに決しました。</p> <p>以上で、令和6年第9回総会に提案されました全議案が終了いたしました。慎重なるご審議、ありがとうございました。</p>

令和6年9月13日

議長

署名人

4番

7番